

令和5年度 第1層協議体 第4回会議 会議録

日 時 令和6年2月2日（金）午後3時～午後4時50分

場 所 大田原市役所 301会議室

出席委員 11名

内 容

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題

（1）地域の居場所づくりセミナーの結果について【資料1】

【事務局説明】

令和5年11月10日開催のセミナーにおいてアンケートを実施し、その結果について以下の通り報告した。

●イベント参加者数 105名 / アンケート有効回答数 77名

●問1 参加者の性別の内訳

75%が女性となっており、現在居場所を開設している方や興味関心のある方がセミナーに参加していることを考えると、予想通りの結果であった

●問2 参加者の年代の内訳

20代から80代まで、幅広く参加。中でも居場所づくりの主体となる年齢層の50歳代から70歳の参加比率が高い。

●問3～問4 講演会・事例発表会の感想

それぞれ8割から9割の方から「とても良かった」または「よかった」と回答。

●自由記載欄

おおむね好評であったが、イベント内容や居場所の在り方、居場所のPR方法など様々な意見があった。

【結果】

セミナーの開催によって、参加者の居場所活動についての知見が広がり、今後の居場所活性化に向けて一定の効果があった。アンケートの結果については、来年度以降の事業に反映することとした。

（2）おおたわら通いの場ガイドブックについて

【事務局説明】

①ガイドブックの内容について

今年度、協議体会議で継続検討してきたガイドブックについて、一部内容の追加・修正があり、事務局案を提示した。

②印刷スケジュールについて【資料2】

すでに見積等は徴しており、令和6年2月18日に原稿修正の締め切りとなるため、意見や修正等がある場合は締め切りまでに事務局まで連絡するよう依頼した。

③与一いきいき体操動画編集について

国際医療福祉大学 保健医療学部 理学療法学科の石坂 正大 准教授監修のもと、新たに体操動画を作成したため、プロジェクターを用いて上映した。

【委員からの意見】

○ガイドブックの配布先について

- ・ほほえみセンターにも置いてほしい。
- ・医療機関や介護サービス機関など、啓発する目的で配布してはどうか。
- ・いきいきメイトなどに配布してはどうか。
- ・居場所づくりは高齢者だけに限定せず、世代を超えて作ってもらいたい。
- ・広く周知するためにはマスコミへの情報提供も効果的。併せて市広報も活用したほうが良い。

○いきいき体操動画について

- ・ピアノの伴奏付きだったが、テンポの掛け声がないと初心者にはわかりにくい。最初は掛け声の映像をみて練習し、その後、慣れたら音楽付きを活用する方が良い。

【結果】

これら意見について事務局で精査し、実施していくこととした。また、当初300部印刷を予定していたが、配布先を検討した結果、500部を印刷することとした。

(3) 大田原市の公共交通について

【大田原市生活環境課から説明】

①大田原市営バスについて

- ・市内には11路線があり、令和4年度の年間利用者数は延べ378,000人。
- ・来年度からは、運転者のなり手不足だけでなく、働き方改革関連法による労働時間の上限規制が開始され、十分な運転手を確保することが困難となるため、公共交通全体で減便となる可能性がある。

②大田原市デマンド交通について

- ・平成25年度から開始。現在は3,610人が登録し、令和4年度の年間利用者数は延べ25,530人となっている。
- ・来年度からは出発地ルールが変更となり、これまでは起点となる出発地（親園・野崎・佐久山区域は野崎駅前車庫、湯津上・黒羽区域は田町ロータリー車庫）からの出発時間が運航のスタート時間となっていたが、来年度からは、

運航時間に最初の予約者の乗降所に到着する時間がスタート時間となる。

- ・行先については要望により追加は可能だが、交通会議に諮る必要があるため、容易に追加できるということではない。
- ・乗降所については基本的にごみステーションに設置しているが、状況によっては市有のカーブミラーにも設置が可能。その場合は相談が必要。

【提案】

上記説明後、併せて事務局から提案。

次年度テーマとして、移動支援・移動販売を提案。デマンド交通の利用促進のため、予約や運行状況ができるスマホの利用を促すスマホ教室なども組み合わせることも併せて提案。本会議での決定ではなく、新年度改めて、協議を行いたい旨説明。

【委員からの意見】

- ・デマンド交通は登録制だが、なぜ氏名だけでなく住所や生年月日を登録しなければならないのかという声も聴いている。氏名だけではだめなのか。
→生活環境課回答：同姓同名の可能性もあり、また、デマンド交通の予約を円滑に行うためにも必要なため、ご理解いただきたい。
- ・提案に対して、買い物難民などのアセスメントは必要。第1層協議体としては、ミクロな視点での支援ではなく、調査をして数値などを計上し、マクロな視点で政策に反映することが必要である。

【結果】

来年度会議において再度テーマについて協議することとなった

(4) その他【資料3】

松本副委員長より、地域支援事業や生活支援体制整備事業について再確認するとともに、インフォーマル冊子の更新や普及、配布の必要性について提案がなされた。次年度以降の協議体会議において、項目の増加など盛り込むこととした。

4 事務連絡【資料4】

●研修会への参加について

令和6年3月14日（木）に、大田原市社会福祉協議会において開催される「令和5年度ささえ愛地域づくり推進研修会」について事務局から説明。第1層協議体委員から3名の参加者を募り、松本副委員長、宮沢委員、湯浅委員が参加することとなった。

5 閉会

ささえ愛おおたわら助け合い事業
第1層協議体会議（令和5年度第4回）

と き：令和6年2月2日(金) 15:00~16:30

ところ：大田原市役所 本庁舎 301会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 地域の居場所づくりセミナーの結果について

・アンケート結果について

(2) おおたわら通いの場ガイドブックについて

- ①ガイドブックの内容について
- ②印刷スケジュールについて
- ③与一いきいき体操動画編集について

(3) 大田原市の公共交通について

- ①大田原市営バスについて
- ②大田原市デマンド交通について

(4) その他

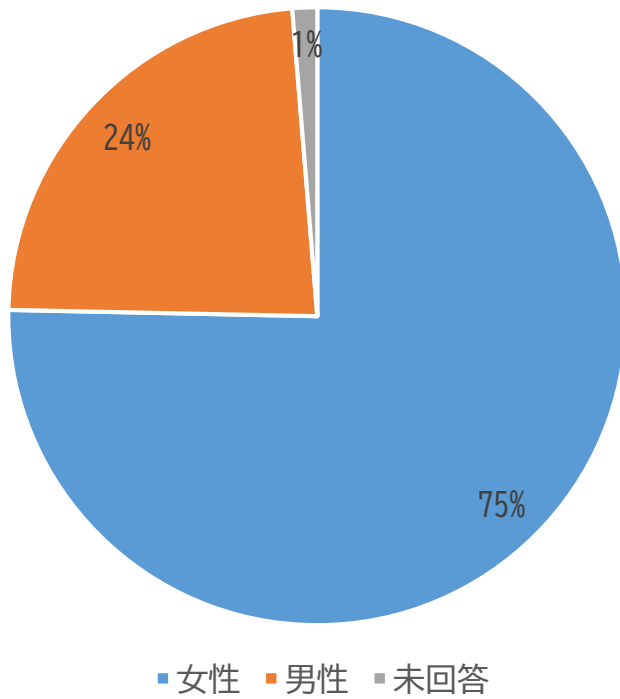
4 事務連絡

・R6.3.14 社協主催 研修の参加について

5 閉会

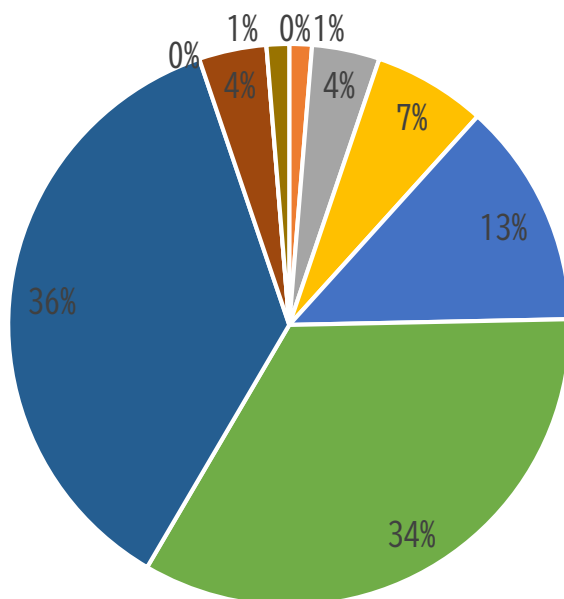
地域の居場所づくりセミナー アンケート結果 集計表

問1 あなたの性別を教えてください。



項目	割合	人数
女性	75%	58
男性	23%	18
未回答	1%	1
総数	100%	77

問2 あなたの年代を教えてください。

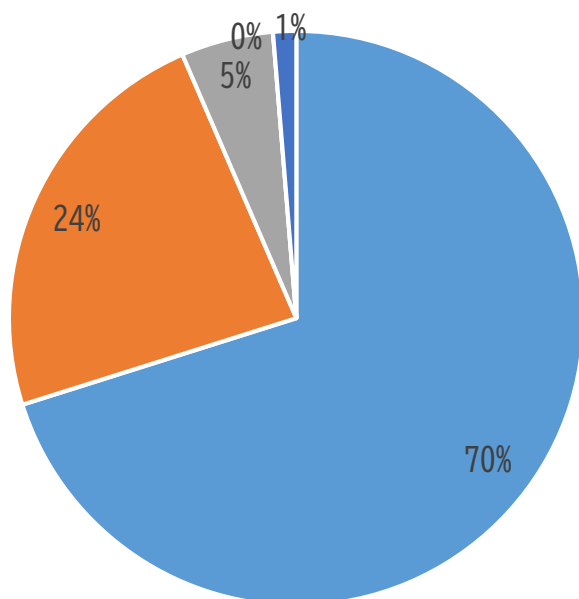


項目	割合	人数
10歳代	0%	0
20歳代	1%	1
30歳代	4%	3
40歳代	6%	5
50歳代	13%	10
60歳代	34%	26
70歳代	36%	28
80歳代	4%	3
90歳以上	0%	0
未回答	1%	1
総数	100%	77

■ 10歳代 ■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代
 ■ 60歳代 ■ 70歳代 ■ 80歳代 ■ 90歳以上 ■ 未回答

問3 第1部 講演会はどうでしたか。

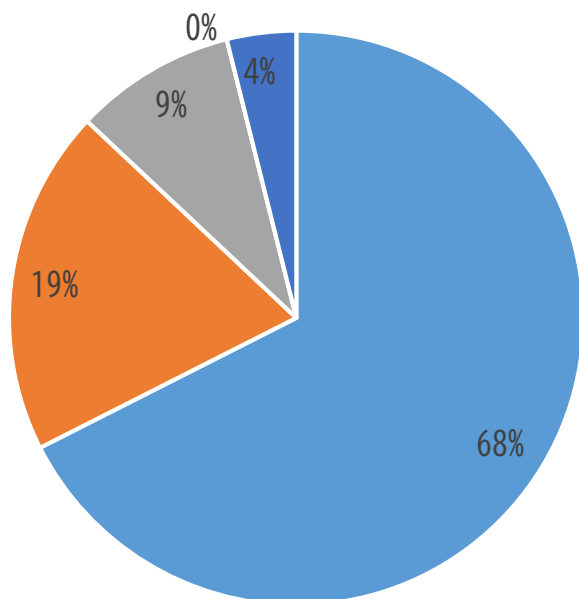
①演題：フレイル予防「運動」～生き生き、住み慣れた地域で～



■ とてもよかった ■ よかった ■ 普通
■ よくなかった ■ 未回答

項目	割合	人数
とてもよかった	70%	54
よかった	23%	18
普通	5%	4
よくなかった	0%	0
未回答	1%	1
総数	100%	77

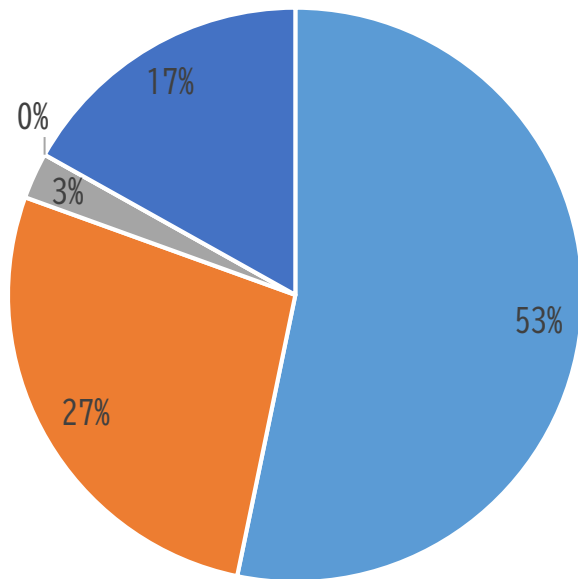
②通いの場で楽しめる簡単にできる料理レシピ



■ とてもよかった ■ よかった ■ 普通
■ よくなかった ■ 未回答

項目	割合	人数
とてもよかった	68%	52
よかった	19%	15
普通	9%	7
よくなかった	0%	0
未回答	4%	3
総数	100%	77

問4 第2部 地域の通いの場事例発表会はどうでしたか。



項目	割合	人数
とてもよかった	53%	41
よかった	27%	21
普通	3%	2
よくなかった	0%	0
未回答	17%	13
総数	100%	77

- とてもよかった
- よかった
- 普通
- よくなかった
- 未回答

アンケート自由記載欄

年代	性別	自由意見
50歳代	女性	第2層のSCのことがなかったのが残念です。地域づくりの身近なところで顔の見えるところで関わっているので。
70歳代	女性	通いの場事例発表は自治公民館での活動がよくわかり、どこでもできる活動でした。今後、自治公民館長がこの取り組みを見ていただき、自治公民館の活動を活発にできたらと思う。そのため自治会長の研修に使っていただけたらと思います。
50歳代	女性	第1層協議体委員の皆さんが楽しく話し合いながら企画している姿が浮かびました。いろいろな分野・活動のお話が聞けて、楽しかったです。とにかく、出演も応援も、明るく笑っているのが良かったです。手作り感があつたかかったです。
40歳代	女性	勉強になりました。ありがとうございました。
60歳代	女性	料理レシピは活用させていただきます。
50歳代	女性	居場所づくり→各地区工夫しているのがわかった。楽しく参加しているのがよくわかった。それぞれの特技を生かしてほかの人にも伝えたり、一緒に行っていて、とてもよいと思いました。
60歳代	女性	継続しているのが素晴らしいと思います。自治会の協力まとまりが大切ですね。出席し楽しむ人は毎回同じ人となりやすいかと思えます。家にこもっている人が、出席できるようになるとなお良いと思います。
30歳代	女性	居場所で越沼先生のスイートポテトをやってみたいと思いました。
20歳代	男性	居場所はどこにでもあり、作るものでなく自然にできるものであることを学んだ。
60歳代	男性	10年・20年・30年…と続く居場所作りたいですね！でも新しく作るのは大変！！有る・在るものを上手に利用して、居場所にしていこう！
40歳代	男性	非常に有意義な時間でした。地域の通いの場で紹介された居場所をもっと作っていくべきだと感じました。
70歳代	男性	居場所のあり方をもっとPRすべきと思います。型にはまらないやり方が大事です。
70歳代	女性	各地域の活動内容のお話を聞き勉強になりました。
60歳代	男性	今後も地域活動に参加したくこのセミナーで感じました。
60歳代	女性	楽しい時間でした。
60歳代	女性	それぞれの発表が地域で特徴があつて、とてもよかったです。
70歳代	女性	今私はだいなりハビリに通っています。細井先生ありがとうございました。「地域の居場所づくり」を仲間と話しながら病気になってしまい、誘われて、こうしてこの場所にこられました。本当に幸せだなーと思っています。宇田川でもいきいきサロンができたらいいなーと思っています。
30歳代	女性	高齢者の方が地域で生きいきと支え手になっていけるような今後になると良いなと思いました。大田原市の高齢者の方は元気でとても嬉しく思いました。
70歳代	女性	これからも地域の居場所づくりに、フレイル予防を心がけて”仲間たちと楽しく元気に笑いながら”続けていきたいと思っています。
80歳代	女性	すぐくためになり、出席して良かったと思いました。
70歳代	女性	男性の参加を促すような活動を考える必要がある。

年代	性別	自由意見
70歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防に関し、「与一いきいき体操」「ウイズまごダンス」等々のDVDがあり活用しているが、今後コグニサイズのDVDを作成し、活用するような方途を考えられたい。 ・簡単にできる料理レシピは、今までは食については避けてきたが、さっそく男の料理として我がサロンでもやってみようと思う。しかし、参加者に女性が多いので、料理が全てにならないよう考えていきたい。 ・自治公民館等を単位に小地域における世代間交流の場を市なりの公的機関（←半強制的な意味で）において設定してもらいたい。（特に40・50代等、働き盛りの方々との）
80歳代	女性	皆様の健康作り、色々と参考になりました。又、大那の先生のお話、身に感じました。
70歳代	女性	私達の所では居場所（サロン）がないので、近いところにあると良いと思っています。外に出て、友達と楽しくすごしたいです。
70歳代	女性	地域の様子がとてもわかり、感動しました。
70歳代	女性	とても勉強になりました。細井先生の様な方が身近にいらして、とても安心しました。
70歳代	女性	食事作り、参考になりました。第1部の講演会もわかりやすく楽しく、これからの参考にしてみたいと思いました。ひとりで参加したのですが、誰も知っている人がいなくて、大田原でも一部の人達だけなのが（地域に入っていけない人がいる）。仲間に入れない人達（人見知りの人達）にどうすれば入っていけるのか、考えさせられます！
70歳代	女性	事例発表良かったです。越沼美知代様の料理、簡単で参考になりました。フレイル予防はむずかしかった。
50歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・細井先生の講話は内容もわかりやすくとても楽しく聞くことができました。 ・カゴメ吉田様のお話も内容のポイントがわかりやすくまとめられ、とても参考になりました。 ・越沼様の料理はとても楽しくお料理意欲もわく講座でした。 ・滝岡→発表の矢吹様、声が大きく元気が出ます。そのような明るい場に人が集まる気がしました。 ・上薄葉→会の運営状況が良く理解できました。いかに盛り立ていくのか努力が感じられました。 ・築地→対象者が子どもから高齢者、地域全体の取り組みが感じられました。
60歳代	男性	参考になりました。
70歳代	女性	緑黄色・淡色野菜の違いについてわかった。細井さんのお話、聞きやすくユーモアもあり、さすがです。野菜を知って上手にとろう、とても参考になりました。
70歳代	男性	運営を含め困難だとは思いますが、定設の居場所があれば良いかなと思う。
70歳代	女性	私の町内では1か月に2回ほど料理、編物等の行事があり、結構楽しめていますが、来る人が決まってきてしまっています。開拓をしています。なかなか新しい人を見つけるのは大変なことです。
60歳代	女性	ありがとうございました。
60歳代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が自分の地域の方々で作ったサロン、とても良かったです。 ・まず自分たちでできることから始める。続けるのは難しいですが、少なくとも市の助成金は助かると思います。
70歳代	女性	今までにないお話で参考になりました。出て来て良かったです。ありがとうございました。

第1層協議体会議 通いの場ガイドブック印刷スケジュール

作成日: 令和6年1月18日

大田原市 高齢者幸福課

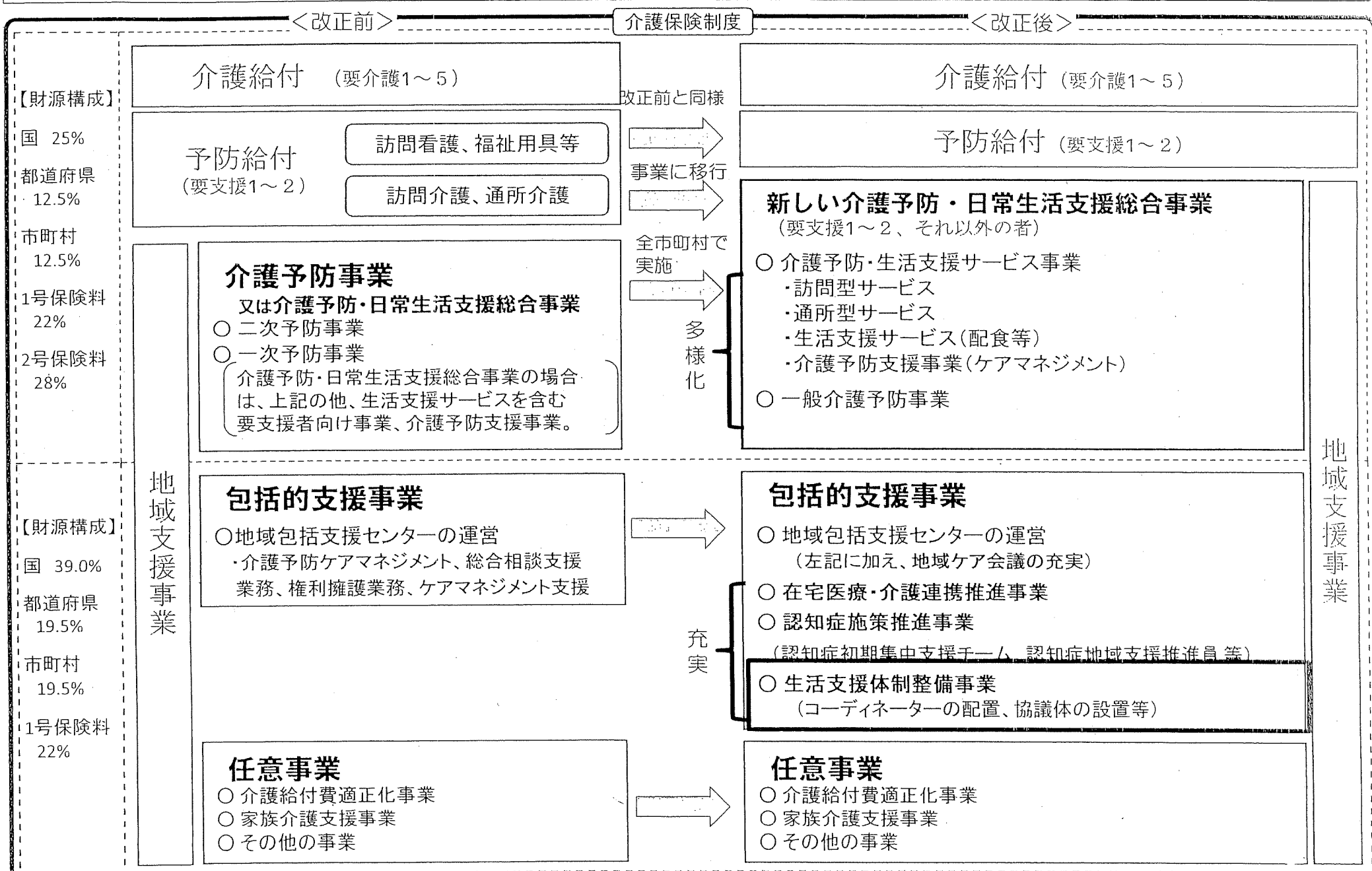
作成者: 小泉

議題 / テーマ	おおたわら通いの場ガイドブック
日付	令和6年2月2日(金) 15:00~16:30
開催場所	大田原市役所 本庁舎301会議室
参加者	協議体委員 細井直人、松本町子、鴫巣隆美、宮澤武夫、湯浅泰正、濱野将行、 青木鉦子、小野珠江、前沢香織、相馬仁美、神長裕子

日程	項目	担当者	備考
R6.1.10	印刷業者見積書依頼	小泉	
R6.1.17	見積書確認	小泉	新宮印刷株式会社 有限会社アート美術印刷
R6.2.2	第1層協議体会議	小泉	
R6.2.18	通いの場ガイドブック原稿修正〆切	小泉	
R6.2.22	通いの場ガイドブック印刷発注	小泉	
R6.3.5	通いの場ガイドブック原稿確認・校正	小泉	
R6.3.29	通いの場ガイドブック冊子 納品	小泉	

備考:印刷 全ページフルカラー300部 1冊@450×300部=135,000円(税込額)			

地域支援事業の全体像



※厚生労働省資料を一部改変

生活支援・介護予防サービスの充実と高齢者の社会参加

地域住民の参加

生活支援・介護予防サービス

- ニーズに合った多様なサービス種別
- 住民主体、NPO、民間企業等多様な主体によるサービス提供

- ・地域サロンの開催
- ・見守り、安否確認
- ・外出支援
- ・買い物、調理、掃除などの家事支援
- ・介護者支援 など

生活支援の担い手としての社会参加



高齢者の社会参加

- 現役時代の能力を活かした活動
- 興味関心がある活動
- 新たにチャレンジする活動

- ・一般就労、起業
- ・趣味活動
- ・健康づくり活動、地域活動
- ・介護、福祉以外のボランティア活動 など

バックアップ

市町村を核とした支援体制の充実・強化

バックアップ

都道府県等による後方支援体制の充実

住み慣れた地域で自分らしい暮らしをつづけるために

ささえ愛おたわら助け合い事業

専門職が協力し合う

介護保険サービス
福祉系サービス

医療

たまに入院

かかりつけ医

定期的受診

サービス利用

ケアマネジャー

社会福祉協議会
民生委員
自治会
NPO

見守り支援

地域住民や
地域の企業
などが助け
合える

生活支援

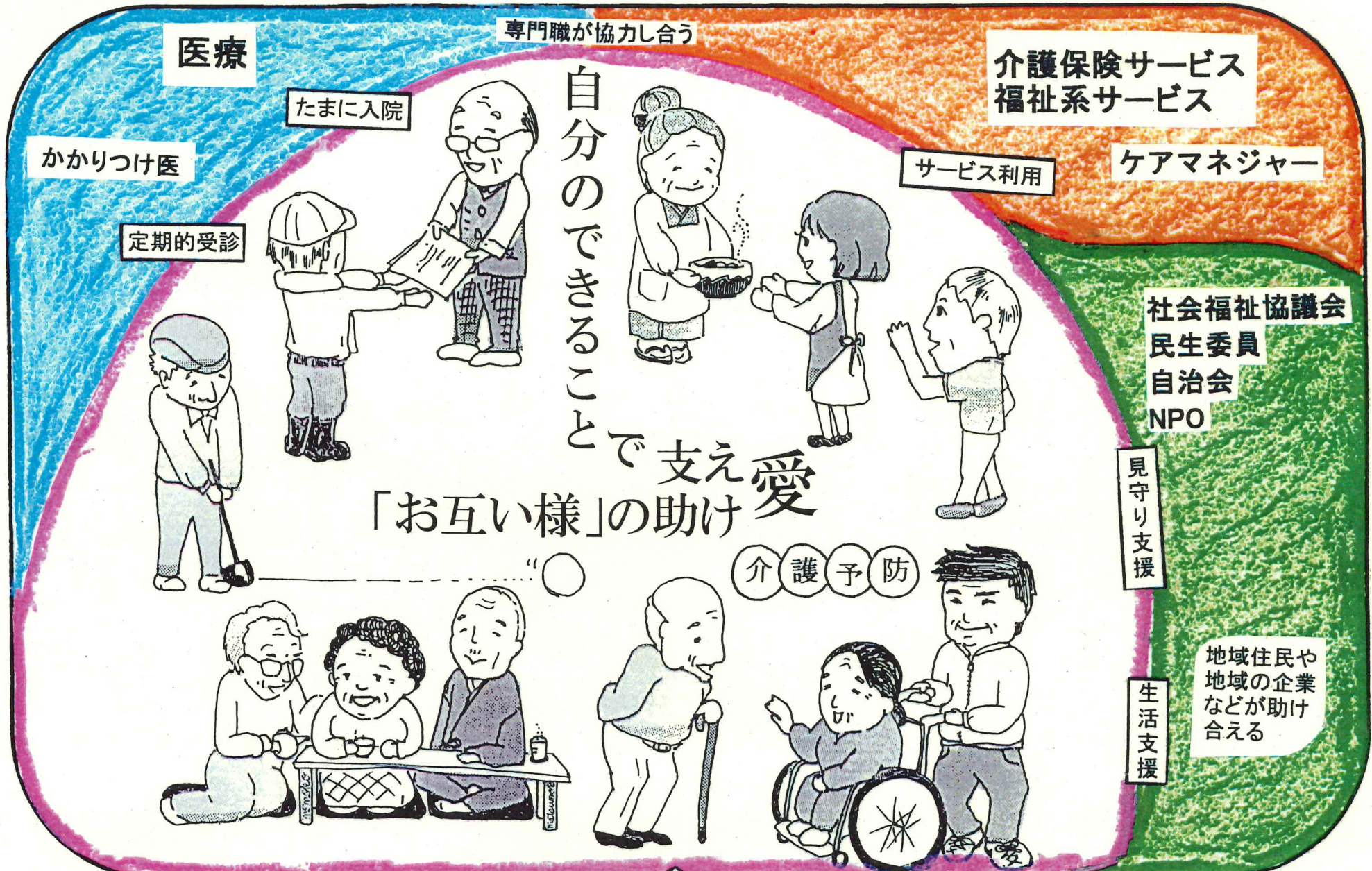
自分のできることで
支え愛
「お互い様」の助け

介護予防

地域包括支援センター・大田原市

大田原市高齢者幸福課

生活支援体制整備事業



令和5年度ささえ愛の地域づくり推進研修会実施要領

1 ねらい

生活支援体制整備事業第2層協議体は平成29年度に設置されてから、地区ごとの特性に応じた取り組みへの協議を進めている。地域の皆さんの熱心な話し合いや活発な活動もたくさんあるが、一方で、活動者の高齢化、後継者不足、やらされ感、負担感などの課題も挙がっているのが実状である。地域性に合わせた住民主体の原点に立ち戻り、協議体委員のモチベーションアップと第2層協議体が元気になるきっかけづくり、仲間づくりにつながることを目的に実施する。

タスクゴール：地域の良いところのを見つけ方が分かる

プロセスゴール：協議体活動への意識を高める

リレーションシップゴール：他地区とのつながりづくり、仲間づくり

2 日 時 令和6年3月14日（木） 午後1時30分～3時40分

3 会 場 金田北地区公民館 多目的ホール

4 参集者	・第2層SC	13
	・第2層協議体委員	36
	・社協職員	9
	・市職員	3
	・第1層SC	2
	・第1層協議体	3
	・地域包括支援センター	3
	・他	1
	合 計	70 名

1グループ 5～6名（地区3名・SC・職員） 12地区

5 内 容 「地域をもっと元気にするカギ
～住民の自然な支え合いを見つめ直してみよう～」
講話・地区ごとの話し合い

6 講 師 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター
理事長 池田昌弘氏